

帯広東ロータリークラブ会報



2014-2015年度
帯広東ロータリークラブ
会長 西田 重人
幹事 深澤佳世子
メディア委員長 加藤雄樹

「和気藹々」

第1459回例会

平成27年2月3日(火) 於 アパホテル帯広駅前

■創立: 1984年6月15日 ■認証: 1984年6月18日 ■例会: 毎週火曜日 12:30~13:30
■事務局: 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場: アパホテル帯広駅前



2014-2015年度
国際ロータリーテーマ
【ロータリーに輝きを】

2014-2015年度国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ガバナーテーマ
【誠心誠意】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー
奥 周 盛

- ◎起立 金尾 S A A
- ◎友情の握手 金尾 S A A
- ◎点鐘 西田会長
- ◎開会宣言 金尾 S A A
- ◎ロータリーソング 金尾 S A A

ゲスト紹介

西田会長

- R I 第2500地区第6分区ガバナー補佐 川田 章博 様
- 第6分区 I M 実行委員会副委員長 越智 孝佳 様
- 第6分区ガバナー補佐セクレタリー 奥 敏則 様

2月結婚記念日を迎える会員

増子親睦委員長



城戸 秀和 会員 (平成5年2月20日)



相澤 和彦 会員 (平成8年2月1日)

- ◎乾杯 齊藤蓮輝会員
- ◎会食

会長挨拶

西田会長

人間の心は妙である。同じ状態が2日も3日も継続すると、その状態がいつまでも、いつまでも続くような気分になって、前途にいらだちを感じたり、やりきれない絶望感に落ちたりすることがあります。寒い寒い雪の日や風の日が3日も4日も続いたりすると、人間の心は暗い状態に閉塞されることがある。



しかし、人間は寒い寒い冬の真っ最中に、立春の日を置き少なくとも暦の上では春がきたものと想定する。明日は立春であります。暦の上でようやく春になったということで、まだまだ寒さは厳しいですが、さすがに日は長くなり、北海道では、春まだ遠いけれど、野には草草が芽吹いてきて「春立つ」ともいいます。

ねずみが一匹、ねずみが二匹、今夜は「ねずみ」のお祭りだ。毎年2月3日は、ねずみのお祭りだ。

あっちの町からこっちの村から、お腹をすかしたねずみたちが、えさを求めて街へやってきます。

帯広の夜の街は、子ネズミから、親ネズミ、ドブネズミがちょろちょろすることでしょう。

会務報告

深澤幹事

- ①帯広5RC・芽室RC・音更RC
合同例会 2月13日 12:00
ホテル日航ノースランド
- ②夜間通常例会
2月17日 18:30
- ③2500地区 I M
3月14日(土) 14:00~
北海道ホテル
ゲスト: 米山奨学生 O B



ジャンチブ・ガルバドラッハ氏
(東RC 3月10日の繰り下げ例会)

ニコニコ献金

越浦親睦委員

- 奥 敏則様(帯広西RC)
IM 宜しくお願いします。
- 西田重人会長(2本) ①北国の春は、まだまだ遠い。でも今日は節分、明日は立春、暦の上では春です。②城戸委員より写真沢山いただきました。
- 深澤佳世子幹事 川田ガバナー補佐、他ゲストの皆様ようこそお越しくださいました。
- 福岡正雄会員 写真ありがとうございます。
- 伊藤克美会員 写真ありがとうございます。
- 金尾浩幸会員 写真をいただきました。
- 板倉利男会員 1年間ホームステイしていた2人の学生が5日それぞれ本国に帰国します。
- 庄内忠道会員 写真ありがとうございます。
- 齊藤蓮輝会員 写真ありがとうございます。
- 加藤昭治会員 写真をいただきました。
- 高橋克弘会員 写真頂きありがとうございます。
- 益子裕之会員 写真ありがとうございます。
- 城戸秀和会員 結婚記念日のお祝いありがとうございました。22年経ちますがラブラブです。
- 古川直也会員 本日は節分です。今年の恵方は西南西だそうです。その方向に向かって恵方巻きを1本まま食べましょう。(縁を切らないという意味のようです)
- 加藤武志会員 城戸さん写真ありがとうございます。
- 越浦豊会員 年末家族会の時の写真をいただきありがとうございます。



貢献度が当地区最低であります。他の地区に比べて米山記念奨学にお金を拠出していないという状況です。これには理由もありまして、当地区は大学が少なく、関心が低いクラブもあるからではないかと思っています。ただ帯広に関しては帯広畜産大学がありますので、帯広地区においては米山奨学生をもう少し増加させていきたいと思っています。それと併せて、米山の奨学生は8割近く中国本土からの留学生になっており、偏らないよう米山奨学会では苦心惨憺しております。そこで考えたのが、当地区および十勝においてはモンゴルとの交流が盛んであることから、モンゴルからの米山奨学生の増加を検討することです。この度のIMは「分区内交流」「米山モンゴル」をテーマに開催していきたいと思っていますので沢山の会員の参加をお願いいたします。

「世界理解月間」について

青少奉仕・ローターアクト委員会 城戸秀和 委員長



皆さんもご存じの通り2月は「世界理解月間」です。

1904年の初めの頃からポールハリスは数人の友人に交友と相互扶助のクラブ構想を打診していました。その1年後、4名により初会合が開かれたのがロータリークラブの発祥とされています。毎年、2月23日を創立記念日として現在、世界理解と平和の日とされています。また、毎年、2月13日から始まる1週間を世界理解と平和週間と称し、各クラブでは世界理解と友情と平和へのプログラムを行うこととなっております。世界理解月間はロータリークラブが親善・平和、世界中の人々の相互理解を得るといったロータリーの絶え間ない探求を推進するチャンスであり、積極的な活動が求められています。世界平和を求めていき国際的に活動する中で、直面するのが思想・人種・宗教の違いや価値観・日常の習慣の違いだと思います。そのギャップを埋めるのは容易いことではありませんが、日本人の当たり前が外国では全く反対のこととして受け止められたりします。挨拶やスキップの違い、時間感覚の違い、自己主張の仕方や社交辞令の良し悪し等、を学習して国際社会に対して相互理解をしていかなければならないと思いました。

◎閉会宣言

金尾浩幸 S A A

◎点 鐘

西田重人会長

プログラム

ゲスト卓話

R I 第2500地区第6分区ガバナー補佐

川田 章博 様
越智 孝佳 様

第6分区IM実行委員会副委員長

この度のIMについては、今までとは少し変えたいところがありますのでご説明いたします。今までは講演を聞いて殆どが終わり懇親会に突入していくといった流れが今までのIMでした。本来のIMの目的は、その時々話題を皆で議論する、もう一つは相互交流です。しかし、今までの流れを一変することは難しいので、今回は2点だけ実行委員会をお願いしています。1点目は分区内交流



です。以前は他クラブとの交流する機会が沢山ありましたが、現状はメーキャップの基準も緩和され、交流する機会が少なくなっています。ここを少しでも打破して分区内交流をどうやって行っていくかを実行委員会をお願いしています。2点目は、全国の中でも米山記念奨学に対する

次週プログラム

- ・ 2月13日(金) 7RC 合同例会(国際奉仕委員会)
 - ・ 2月17日(火) 「夜間通常例会」(社会奉仕委員会)
- ゲスト：十勝障がい者支援センター
理事長 門屋充郎 様
【日本の障がい者の処遇が大きく変わる】